

- 「進路のしおり」発刊
- 新教育課程入試2年目
- 大学出張講義
- THE 日本大学ランキング紹介

知識はメガネ、知識はシャワー

国語科 金井 麻希

大河ドラマにはまり、先日、東京国立博物館特別展「蔦屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児」を見てきました。メディアという視点で文化を見ると、江戸時代も今と変わらず、嗅覚の働く敏腕プロデューサーが流行を後押ししたり、「推し活」に励む人たちがいたり。さほど違いがないように見えていた浮世絵、作者による画風がまったく違うことにも気づきました。実に面白い。いくつになっても、新しい知識を得ると世界の見え方が変わります。

目が悪い人、初めてメガネやコンタクトを着用した時の感覚を思い出してください。自分、こんなに何も見えていなかったんだ！とびっくりしませんでしたか？それまで特に不便を感じていなかったのに、一度着用するとメガネなしで歩くのが怖くなるくらい、世界が変わりますよね。知識を得る、ってまさにそんな感じです。知識によって見える世界はまったく変わってきます。知らなくても生きてはいられるけど、知ると世界の解像度がぐっと上がって人生が楽しくなってくる。

高校生の皆さんは今、日々知識のシャワーを浴びていると思います。半ば強制的に浴びせられ、びしょ濡れで、もはやシャワーを浴びている感覚がないかもしれません。若干、うんざりしているかもしれません。かくいう私も、思い返せば知識の恵みに気づかずに学生時代を過ごしていました。

高校時代。自由な校風の高校で、先生方も個性的。国語の授業は1学期いっぱい宮沢賢治「銀河鉄道の夜」の考察、2学期は「風の谷のナウシカ（漫画版）」の考察を延々と。生物の授業ではキイロショウジョウバエの卵が班ごとに渡されて孫世代まで飼育？する、なんて授業が印象に残っています。しかし、私はぼんやりした高校生でした。面白いなーと思いつつ、そこから自分で調べる、とか、その考え方を他のものにも当てはめる、なんてことはせず、授業が終わったら終わり。学んだことや感じたことを知識として定着させることはできませんでした。つくづく、もったいなかったと今は思います。

大学時代。アルバイト等に明け暮れて、これまた楽しく過ごしました。一人暮らしの友達の家泊まって朝までおしゃべりして寝坊して1限サボったり、稼いだお金で買い物に行ったり旅行に行ったり。ビリヤードやダーツ、浴びるほど飲むお酒。オトナ（と当時は思っていた）の遊びに現を抜かし、大学の講義は…あまり記憶がありません。後で本屋に講義受けていた先生の名前を見つけて、「あ、こんな有名な人だったんだ」なんて思うことも。つくづく、もったいなかったと今は思います。

高校時代も大学時代もめちゃくちゃ楽しかったので、後悔はありませんが…知識を得ることの楽しさ、貴重さをもっと自覚していたかった、もっと深めていけばよかったな、とは思っています。

残念ながら社会に出ると、基本的には砂漠です。自分から積極的に探しにいかねば水にたどりつきません。皆さんには、学生時代に浴びせられる貴重な知のシャワーを、思う存分浴びて、体に染みこませて、世界の解像度をあげてほしいと思います。

○「進路のしおり」 発刊

2025年度用の「進路のしおり」が出来上がりました。すべての学年にとって知っておくべき内容が凝縮されて載っています。1年間大切にし、折に触れて読み返しましょう。

1年生は「進路の決め方」「大学入試のしくみ」をしっかり読んで、進路の基本を学んでください。また、「調査書について知ろう」を読むと、1年次からの成績がいかに大事かよく分かります。高校受験では中学3年生の成績が重要でしたが、大学受験では高校1年生からの成績がすべて調査書に反映されます。あとで頑張っても取り返せないものがあるということを肝に銘じておきましょう。

2年生は「進路の決め方」「大学入試のしくみ」「一般入試日程」を読み、来年度に備えましょう。また、「合格体験記」を読むことで、2年生での学習を後悔なきものへするヒントが見つかります。

3年生はしおりの隅から隅までを熟読して、受験に向けた心構えを作ってください。中でも「合格体験記」は、新宿高校で学んだ先輩たちの貴重な体験が記されています。愛する母校の後輩たちのために、包み隠さず書いてくれています。そんな思いをしっかりと受けとめ、皆さんの糧としてください。

○新教育課程入試 2 年目

昨年度より「新課程入試」が始まりました。共通テストでは、昨年度と一昨年度以前とで配点や試験時間が異なっています。過去問を解く際は注意してください。

(1) 共通テスト

表 1 出題教科・科目の選択範囲及び試験時間

教科	出題科目	試験時間
国 語	『国語』	90 分
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	1 科目選択 60 分 2 科目選択 130 分 (うち解答時間 120 分)
公 民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』(再掲)	
数 学	① 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 ② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	70 分 70 分
理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	1 科目選択 60 分 2 科目選択 130 分 (うち解答時間 120 分)
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	『英語』 【リーディング】80 分 【リスニング】60 分 (うち解答時間 30 分) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】80 分
情 報	『情報Ⅰ』	60 分

表 2

2 科目選択時の組合せパターン (○が付く組合せのみ可)								
	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	地理総合／歴史総合／公共			公共、倫理	公共、政治・経済
	地理総合／ 歴史総合	地理総合／ 公共	歴史総合／ 公共					
地理総合、地理探究		○	○	×	×	○	○	○
歴史総合、日本史探究	○		○	×	○	×	○	○
歴史総合、世界史探究	○	○		×	○	×	○	○
地理総合／ 歴史総合／ 公共	地理総合／ 歴史総合	×	×	×			○	○
	地理総合／ 公共	×	○	○			×	×
	歴史総合／ 公共	○	×	×			×	×
公共、倫理	○	○	○	○	×	×		×
公共、政治・経済	○	○	○	○	×	×	×	

地歴公民を2科目受験する場合は、公民2科目の組合せ、「地歴総合／歴史総合／公共」で選択した科目と同一名称を含む科目の組合せは不可。

(2) 個別学力試験 (一般入試)

・数学の出題科目、範囲

国公立大の文系学部はⅠ・Ⅱ・A・B・C(ベクトルのみ)、理系学部はⅠ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)が多い。

私立大の文系学部はⅠ・Ⅱ・A・B・C(ベクトルのみ)が最大の範囲(これより少ない大学・学部もある)

理系学部はⅠ・Ⅱ・A・B・C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)が最大の範囲(これより少ない大学・学部もある)。旧課程での出題範囲を継続する大学が多い。

・地歴公民の出題範囲

地歴、公民は大学・学部により、○○総合を含む／含まない、公共を含む／含まないが異なるので、自分が受験を考えている大学・学部の科目をよく調べること。

○大学出張講義

2年生全員を対象に、東京大学の先生による出張講義があります。詳細は以下の通りです。

日時 7月9日(水) 14:15～15:45

場所 視聴覚室

講師 野地 博行(ノジ ヒロユキ)先生

東京大学工学系研究科 教授

内容 「大学の生物とは?～学問に境界はない～」

2年生が対象ですが、興味のある1,3年生は教室掲示の案内を確認し、事前に参加申込をしてください。

OTHE 日本大学ランキング紹介

「世界大学ランキング」で最も歴史と権威のある英国の教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション（以下、THE）が、日本の大学の教学改革やグローバル化の推進に向けて、2025 年 4 月 3 日に 8 回目となる「THE 日本大学ランキング 2025」を発表しました。

日本版ランキングの指標は「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の 4 分野 16 項目で構成され、「この大学は他大学と比較したときに、どの分野が特徴的か」「なぜ、この大学はこの分野の評価が高いのか」など、大学について様々な視点からの検討が可能です。多面的に大学の实力を知り、大学に関する見方をさらに広げるものとして、参考にしてみてください。

総合順位	大学名	総合	教育リソース	教育充実度	教育成果	国際性
1	東北大学	85	79.8	84.3	93.4	88.2
2	東京工業大学 (現東京科学大)	82.7	74.5	85.2	90.8	86.3
3	東京大学	82.2	81.8	84.4	89.6	73.6
4	京都大学	81.9	78.7	80.7	96.2	77.4
5	九州大学	81.5	71.4	84.6	95.6	82.5
6	大阪大学	81.2	74.5	83.2	91.2	81.6
7	名古屋大学	79.8	73.4	82.9	92.6	76
8	北海道大学	79.4	70.8	83.9	94	75.4
9	筑波大学	78.2	69.6	84	86.1	77.8
10	国際教養大学	73.3	50.7	91.1	54.8	99.9

詳細は以下のページへ。エリアや学問系統で絞り込むこともできます。

THE 日本大学ランキング
<https://japanuniversityrankings.jp/rankings/>

先輩からの言葉

職業の道楽化、道楽の職業化？

東京都立大学大学院

20 回生 高橋 進

私は、子供の頃からの自然好きで、自然に関連した仕事をしてきました。皆さんのこれからの進学や職業選択の参考になるか分かりませんが、私の体験をお話ししましょう。

私の新宿高校でのクラブ活動は生物部。当時の部員は、植物よりも蝶などの昆虫や両棲・爬虫類などに興味のある者が多かったです。数種類のヘビを飼育していたために、まだ田園の広がっていた日野付近にまで餌のカエルを捕りに行ったりもしました。部室は、正門すぐ右側の小屋で、一部ガラス張りの温室でした。温室というよりも飼育室と呼ばれていた部室で、昼休みの弁当を部員と食べるのが楽しみでした。

大学進学も、生物や自然に関連した学部のある大学の受験を考えていました。当時の新宿高校では一浪が当たり前。そこで、どうせ浪人するならと、友人たちと東大（私は理科Ⅱ類）だけを受験して、運良く合格。その後、農学部林学科に進学し、卒業しました。

就職は、「どこに就職するか」というより、「何をするか」ということで、設置されたばかりの環境庁（現、環境省）を選択。自然保護の技官として、十和田湖や阿寒湖の国立公園管理事務所勤務や本庁（霞が関）での様々な政策立案などに携わりました。JICA 生物多様性プロジェクト初代リーダーとして、インドネシアで 3 年間過ごした経験も。30 年間の役人生活の後、新設された共栄大学の教授に就任。およそ 20 年間の研究と学生教育。退職後も熱帯林での研究プロジェクトに参画。これが、高校卒業後の私の

人生の大まかな足取りです。環境省での仕事や大学での研究も紹介した著書『生物多様性を問いなおす世界・自然・未来との共生とSDGs』（ちくま新書）は、図書室にも蔵書されています。大学や高校の入試問題（国語）にも採用されました。興味のある方はどうぞご覧ください。

ところで、日本最初の林学博士であり、国立公園創設にもかかわるなど、私と縁の深い（と勝手に思っています）人物が本多静六。日比谷公園や明治神宮の設計・造営にも携わった人物として有名です。本多静六は多くの人生訓も残しましたが、そのひとつで私の好きな名言に、「人生最大の幸福は、その職業の道楽化にある」というのがあります。

私は、よく家族や知人から、「好きな仕事できて、幸福だ」と言われます。私自身もそう思います。小学校の卒業文集を見返したところ、「20年後の僕・私」として「生物研究所の所長になり、まだ知られていない生物をたくさん発見して、その生物の世界を調べる。そして映画にして、みんなに見せたい。」と書いてありました。中学でも生物部。「職業の道楽化」というよりも、「道楽（趣味）の職業化」といった方が良いかもしれません。

とは言え、実際に仕事となると、楽しいことばかりではありません。十和田湖や阿寒湖の観光地で生活できるなんて、と知人から羨ましがられましたが、今と違ってネット販売もない時代、週に一度数十キロ離れた町まで買い物に出かけたり、地元の観光業者との微妙な付き合い加減などに気を使ったり、身体的、精神的な苦労もありました。霞が関では、連日の終電間際までの残業、終電後のタクシー帰宅も随分ありました。一方で、一時的な観光客では味わうこともできないような四季折々の自然の姿に出会い、また国内はもとより国際的な自然環境・生物多様性政策の立案や実施に携わることができたのは喜びであり、誇りでもあります。

皆さんも、これからの生活の中で様々な選択とその結果としての人生があることでしょう。私のように、運よく好きなことがそのまま職業（道楽の職業化）となれば、それに越したことはありませんが、どんな仕事にも、そこに楽しみ、喜びや遣り甲斐、誇りを見出すことは可能かと思います。まさに、「職業の道楽化」を心がけてはいかがでしょうか。

（同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。）

※今後の予定（進路関係）

- 6月25日（水） 指定校推薦・学校推薦型・総合型選抜大学入試の説明会（3年生）
- 7月4日（金） 共通テスト出願変更点の説明（3年生）
- 7日（月） 進研模試（全学年 3年生は8日AMまで）
- 9日（水） 大学出張講義（2年生）

